

6the-ICON World Contest 参加レポート

芝浦工業大学柏高等学校 新 千春
高橋七海

【現地に行く前の活動について】

まず最初に e-ICON に出場するための書類を書きました。個人で書くものと（3種類）、チームで書くもの（1種類）があります。

全て英語で書くので、とても時間がかかり、最終的には休日に家に集まって完成させました。

後日チームが決定して、e-ICON のサイトでお互いのメアドを知ってから連絡を取り合いました。私たちのチームは途中から Twitter でやり取りをしていました。

そこで大体のアプリの内容を決め、また書類を書き上げて主催側に提出しました。（これも提出期限がギリギリでした。）

現地ではアプリはもちろん、プレゼンテーション、さらには PV やポスターの作成もあるので、準備はできる限り進めたほうがいいと思います。

【チーム概要】

Team O (Psychology Test to Find Oneself)

[日本側]

新 千春 (情報収集、翻訳、プレゼンテーション)

高橋七海 (情報収集、ポスター作製)

[韓国側]

Eo Rocky (アプリ制作、動画作成、プレゼンテーション)

Hwang Jaeyeon (イラスト、動画作成)

8/18 (木) 一日目

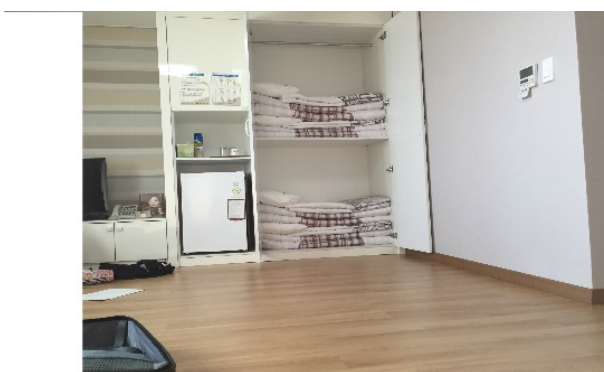


成田空港と機内食の写真です。この時は台風が近づいていて、天気が荒れ始めていたのですが、何の問題もなく出国出来ました。（機内食は美味しかったですが、とても熱かったです…）韓国に着いてからニュースで日本が台風で大変だということを知りました。

釜山の空港の両替所の写真です。1人は出国前に韓国ウォンに両替していましたが、他のメンバーはここで両替をしていました。お金を使う場面、時間はあまり無いので、あまり多額の両替をすることはおすすめしません。



空港には主催側の人を迎えに来ていたので、スムーズに移動することが出来ました。空港で、他の日本からの出場者と挨拶を交わしました。



宿舎の入口と実際に泊まる部屋の写真です。滞在中はずっとここに泊まります。開会式とプレゼンテーションと閉会式はバスで5分程の HICO という施設で行いますが、その他の作業はここで進めます。アプリ作成に使う部屋及び自室は Wi-Fi 環境が整っているので、ポケット Wi-Fi を借りる必要はあまりないと思います。が、万が一もあるので、持っていても良いと思います。事実、去年は Wi-Fi 環境が悪く、大変そうだったので。(因みに前は釜山ではなくソウルでした。)

私たちが借りましたが、全然使いませんでした。ポケット Wi-Fi の貸出と返却は成田空港で行いました。また、写真にもある通り寝具は布団です。靴は脱いであがる形なので、スリッパは不要だと思います。

8/19 (金) 2日目



HICO 内の写真です。私たちはここで自分のチームの韓国側のメンバー2人と顔合わせをしました。他国の参加者と落ち着いて会話をしたのもここが最初だったと思います。ここからは基本チームで行動することになります。(バスもチームごとに何号車か決まっていました。)

オープニングセレモニーでは参加者全員が自己紹介をしたり、大学の先生の講義を聞いたりしました。

その後はお昼まで本格的にチームごとに作業にとりかかりました。昼食は HICO の近くの韓国料理のバイキング

のお店で食べました。美味しかったです。

それからは宿舎に戻って夕飯を食べて、作業をしたいチームは作業部屋で作業を、それ以外の人は各々自由に過ごしていました。また、作業期間は主催側がお夜食を用意して下さっていました。この日のお夜食はサイダーとプルコギバーガーでした。美味しかったです。

8/20 (土) 3日目

この日からは食事以外は作業をする、という流れがしばらく続きます。

かと言っても全く休憩がない訳ではありません。各自好きな時に外に行ったり、部屋に戻って少し休憩をしたりしていました。自分たちのペースで作業した方がはかどります。

作業中もサポーターの方々がお菓子やジュースを配ってくださったので快適に作業することが出来ました。

また、作業部屋での充電は環境が整っているので問題ないと思います。ただ、目は疲れるので、目薬を持っていくことをお勧めします。

この日は実質的な作業初日なので、役割分担や細かいコンセプトを決めて、それからは各自の仕事をしていました。私たちのチームは制作するアプリが心理テストで、韓国側の2人が、それぞれプログラミングとイラストを担当し、私たちは情報収集を担当しました。そして、私たち2人のなかでも役割を分担しました。1人が情報を集めてwordにまとめて、それをもう1人が英語と韓国語に訳して3か国語にしたものをプログラミング担当に渡すという流れで作業をしました。勿論手があいた時はお互いの仕事を手伝ったりもしました。

この日のお夜食はトッポギとおでんでした。どちらも辛かったですが、美味しかったです。



8/21 (日) 4日目

この日も食事以外は淡々と作業をしていました。チョコレートやクッキーなどのお菓子やカップヌードルなどが作業部屋に常備されているので、作業の合間に食べていました。空気はそれほど張り詰めてはおらず、あちらこちらで笑い声が聞こえてくる和気あいあいとした雰囲気でした。

夕飯の少し前に大体の情報収集は済み、次にポスターのデザインを担当することになりました。この日は夕飯を食べた後はずっと自室に戻って2人でデザインを考えていました。

夕飯の後も作業しているチームもありましたが、各部屋で作業をして、データをメールで送る、というチームもありました。自由度はかなり高いです。

この日のお夜食はピザでした。1枚が大きくて驚きました。



8/22 (月) 5 日目

この日は作業の初めに前の日に考えたポスターの案をいくつか見せて、韓国側の 2 人に直す点や追加する点などを言ってもらい、ポスターを書き始めました。もう 1 人は翻訳がまだ終わっていませんでしたので、役割はポスター作製と情報の翻訳という感じで分けました。

さすがに 5 日目となると少し疲労は出てきますが、翌日にはチームごとのプレゼンテーションを控えているので、色々なものを完成させるために多くの人が夕飯の後も残って作業をしていました。この日のお夜食はアイスクリームでした。頭を使っている身には嬉しい糖分でした。(下の画像は私たちのチームのアプリのポスターです。)



8/23 (火) 6 日目

この日は 3 つのグループに分かれて、時間帯を変えて HICO でプレゼン発表をしました。1 チームのプレゼン時間は 15 分、審査員による質問が 5 分で構成されていて、私達のチームは 1 グループ目の 5 番目でした。プレゼンは英語で行われ、質問は韓国語だったので韓国のメンバーが答えることになっていました。また、前日までに作ってきたムービーはプレゼンの間に流し、ポスターは審査員の方々に渡されました。

私たちのプレゼンは韓国側から 1 人、日本側から 1 人でやろうということになっていたのですが、台本が完成し

たのがプレゼン発表の日の朝だったので、ほとんど練習が出来なくて紙を見て話しました。しかし、1グループの他のチームの人たちは、ほとんど紙を見ずに前を見て語り掛けるように堂々とプレゼンをしていました。パワーポイントのつくり方も非常に上手で、日本でのプレゼンと違い過ぎて衝撃を受けました。コミュニケーションを取る方法として英語の必要性と、プレゼン能力の大切さを身に染みて感じました。他のグループのプレゼンは残念ながら見る事が出来ませんでした。

そのあとは宿舎に戻って昼食を食べ、2,3グループがプレゼンの間の午後は自由時間になりました。1グループの中でも、チームによっては韓国側の子たちが街を案内してくれていたところもあったようですが、私たちは疲れていたため宿舎の中をのんびりと二人で見まわりました。それまでは作業の部屋にこもりきりだったので、卓球部屋やカラオケ部屋をのぞいて少し遊びました。一通り終わった後は、部屋に戻って夕食の時間までゴロゴロして過ごしました。夕食後は、「新羅」というセリフなどの言葉は無いミュージカルをみんなで見に行きました。後から知ったのですが、かなり有名な公演だったようです。言葉が無いので音楽と役者さんの演技だけで内容を掴みましたが、とても面白かったです。



8/24 (水) 7日目

午前中は UNIST のキャンパスツアー、午後は閉会式をして解散という予定で、閉会式には e-ICON の T-シャツを着ることになっていました。UNIST とは蔚山科学技術大学校のことで、韓国でもトップレベルの国立大学です。そのキャンパスツアーでは、大学の方の公演と施設見学をしました。公演もちろん英語だったので詳しくは理解できませんでしたが、情報について様々な分野から話していました。公演の後の施設見学では、専門的な研究室や学生たちの交流スペースなどを見学しました。広く緑が多いキャンパスは、学生だけでなく研究者の人たちにも心地よい環境であることが分かりました。昼食を大学内の食堂で食べた後、閉会式をする HICO へ移動しました。

閉会式には主催者の方の来賓の方々がいらっしゃり、その方々から賞を受け取りました。賞は3位が2チーム、2位が2チーム、1位が1チームで、その他に2つの賞がありました。主催者の方のお話や6回のICONの思い出映像が流された後、和やかな雰囲気の中で賞が発表されていき、みんな賞を取ったチームに大きな拍手をして称え

ていました。そのあとは全員での写真撮影をして、その流れでチームごとやサポーターの人たちと写真を撮りながら別れを惜しまました。みんな本当にフレンドリーで、チームを超えて仲が良くなった人も多かったようで悲しんでいる人がたくさんいました。サポーターや先生同士でも交流がかなりあったので、私たちだけでなく運営側も一緒に別れを惜しまました。私たち日本人は次の日のフライトで帰国するので、宿舎に戻るバスに乗る予定だったのですが、最後にどうしても街を観光してお土産を買いたいということでタクシーに乗って街に出ました。お土産を買うためにスーパーなどに行きたかったのですが、市場などしかなかったのでコンビニで少しのお土産のお菓子を買った店に入って韓国の小物を買ったりしました。夕食も地元のお店に入って麺を食べましたが、辛いというものでも辛さがかなりありました。地元のバスで宿舎に戻りましたが、街に出られたのはそれくらいだったのでほとんどお金を使うタイミングがありませんでした。換金はあまりし過ぎない方がいいと思います。



8/24 (木) 8日目

最終日は9時30分の便で成田に帰る予定でした。この日に国に帰る人たちの中でも、私たちの便よりも早い便で帰る人もいたので、宿舎を朝5時に出発して釜山空港に向かいました。(最後まで残っていた運営の人たちもこの日に一緒に帰りました。)朝食は宿舎でも時間が早すぎて出なかったので、前日を買っていた軽食をバスの中で食べました。空港については各自解散になり、私たちは出発までの時間がかかりあったので、出国審査を終えた後に自由時間として空港の中で軽く買い物をしました。でも、小さな空港だったのでほとんど買うものもなく余った小銭を少し使った程度でした。昼食は機内で出たので、日本に着いてからはみんなそれぞれ家に帰り、お昼過ぎには家に帰ってきていたと思います。(下は、釜山空港の写真です。)



【最後に】

今回は本当に貴重な経験をさせてもらいました。チームワークの大切さや、プレゼンテーション能力の重要性など、これからの人生においてこの経験は絶対に役に立つと思います。お世話になった先生や e-ICON の運営の方々、JAPIAS のの方々、本当にありがとうございました。